

知的障害のある人・精神障害のある人の困り事

No.	障害種別	場面	日常生活や社会生活での困り事	どう対応している／ どういった配慮が必要
1	知的障害	公共交通機関	バスに乗車中、赤ちゃんが泣きだして、本人は犬の声や赤ちゃんの声が特に苦手なのでパニックになり、隣にいる私（親）を叩いたりした。（いろいろな場面でよくある出来事） 車中にいた男性が「親に向かって何で暴力をふるうんだ」と怒ってきたが、障害があつて泣き声が苦手なパニックになったのだと説明した。	泣き声等を狭い空間で止めさせることは無理で、本人がその場を離れるしか方法はないので、とても難しい問題。バス等では無理だが、大きな施設にあるような、パニックになった時に利用できる一人になれる部屋が、施設にあると助かる。
2	知的障害	公共交通機関	奇声を上げてしまい静かにできない。周りの視線が痛い。	自閉症という障害について知って欲しい。
3	精神障害	労働・雇用	本人は本人なりに懸命に働いていても認めてもらえない。 説明が上手くできないので、理解されない。 友達関係で理解し合えなくてトラブルになる。	親が年老いてくると本人の様子等の気持ちが分からず、兄弟姉妹が近くにいない人等どうしているのかと、いつも心配している。今は支援者に任せている。
4	精神障害	行政手続	区役所などで、手続きが分かりにくい。	支援を受けている事業所に書類を持って行ってサポートを受けた。窓口では分かりやすい説明をお願いしたい。
5	精神障害	その他	親も高齢になり、子どもが一人で自立して生きていくため、住む部屋を探したりしたが、障害のため、オーナーに断られたりした。	一緒に探してくれたり、相談に乗ってくれたりする人がいたらいいと思う。